

ノスクマード[®]知財ニュース

7

2021

◆ 2020年の中小企業の特許出願件数の割合が過去最高に

特許庁の2021年特許行政年次報告書によると、2020年の国内の中小企業の特許出願件数は、コロナ禍にもかかわらず件数と比率ともに増加し、3万9789件で全体の17.5%となっており、その割合が2年連続で過去最高となった。

また、特許出願件数の順位別グループでは、1位～30位のグループの特許出願件数は2016年度に比べて4ポイント減の22%となっているのに対し、中小企業を多く含む1000位以下では同4ポイント増の29%になっている。

◆ ティファニーとコストコが和解

コストコの「ティファニー (Tiffany)」という名称の指輪を巡る、ティファニーとコストコが8年にわたって争っていた裁判が和解で終結した。コストコの代理人弁護士によると「紛争を友好的に解決した」というが、和解条項は非開示となっている。

問題となったコストコの指輪は、「ティファニー・セッティング」という仕様で、店頭では「ティファニー」と記載した看板を付けて、ブランド物の高級時計の隣に配置して販売していた。これを受けてティファニーは同社が商標登録している「ティファニー」という名称を不当に使用し、消費者の混同を招くとして商標権侵害などで2013年に提訴。コストコは、ティファニーの商標権を侵害する意図はなかったと主張したが、一審のニューヨーク州連邦裁判所は2017年8月、ティファニーの主張を認め、コストコに1940万ドル（約21億円）を支払うよう命じ、「ティファニー」という名称の使用等を禁じた。

しかし、二審では、一審の判断には誤りがあり、コストコに陪審員への十分な説明の機会が与えられなかったというコストコの主張を認め、2020年8月に一審判決を破棄し、審理の差し戻しを命じていた。

◆ ヤフー社が「Yahoo!」商標権の取得等に約1785億円支払う

「Yahoo!」および「Yahoo! JAPAN」の商標権は、ベライゾン・コミュニケーションズの傘下企業であるOathが所有している。このため、ヤフー社は、Oathと「ヤフージャパンライセンス契約」を締結し、ロイヤルティを支払って商標権や技術を使用してきた。

しかし、今年、ベライゾン・コミュニケーションズが、Oathを傘下に持つメディア事業のベライゾン・メディア・グループを売却することを決定したため、これに伴い両社は、「Yahoo!およびYahoo! JAPANに関連する日本での商標権の取得」等の契約を行ない、ヤフー社は、Oathに約1785億円を支払うという。

株式会社ノスクマード[®]インスティテュート[®]

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1-15-1 ノスクマードビル

TEL (06)6394-3073 FAX (06)6394-3066 URL <http://www.yanagino.com>

ノスクマード[®]知財ニュース

8

2021

◆ 「たけのこの里」が立体商標として商標登録

明治のチョコレート菓子「たけのこの里」が立体商標として商標登録された。食品の立体的な形状が商標として認められるケースは珍しく、注目を集めている。

この「たけのこの里」の出願については、特許庁が19年8月に「単に商品の一形態を表示するにすぎない」とする拒絶理由を通知していた。

これに対し、明治は、「長年の使用で取引や消費者に自社の商品と明らかに認識されている」ことを、男女約1200人に「たけのこの里」の商品の画像を示して商品名を回答してもらうという調査において約9割から正しい商品名の回答が得られたこと等で立証していた。

明治は「チョコレートは四角や丸の形状が多い中、この形状だからこそ長年愛されて認知率を得た」としている。

◆ グリーVSスーパーセル 和解

ゲームメーカーのグリー社は、スーパーセル社（フィンランド）と特許権侵害の訴訟で和解したと発表した。

グリー社は2019年2月以降、スーパーセルに対し7件の特許権侵害訴訟を提起していた。これらのうち3件の訴訟について既にグリー社が勝訴し、損害賠償金9210万ドル（約100億円）の支払いを命じる判決が下っていたが、今回の和解について和解金などの詳細は明らかにされていない。

◆ 「鬼滅の刃」の偽物販売で再逮捕 16億円超の売上

人気アニメ「鬼滅の刃」の偽物の商品を販売のために所持していたとして、横浜市の会社の経営者ら4人が再逮捕された。

警察によれば、4人は、「鬼滅の刃」の「滅」と類似する文字やデザインがプリントされたブランケットなど約1万4000点を販売目的で所持した商標法違反の疑いがもたれているという。

4人は、「鬼滅の刃」を連想させる商品を中国から輸入し、販売したとして不正競争防止法違反で7月にすでに逮捕されていた。また、警察は、4人が2019年11月から今年4月にかけて、約16億6000万円を売り上げたとみて調べている。

株式会社 **ノスクマード[®] インスティテュート[®]**

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1-15-1 ノスクマードビル

TEL (06)6394-3073 FAX (06)6394-3066 URL <http://www.yanagino.com>

ノスクマード[®]知財ニュース

9

2021

◆ 中国が2035年までの知的財産権に関する方針を発表

中国共産党中央委員会と国務院が通達した「知的財産権強国建設綱要（2021－2035年）」には、「2025年までに、知的財産権強国の建設において著しい成果を収め、知的財産権の保護をより厳格にし、社会的満足度を高い水準にして維持し、知的財産権の市場価値を一層明らかにし、ブランド競争力を大幅に高める。2035年までに、知的財産権の総合競争力において世界トップレベルになり、中国の特色ある、世界水準の知的財産権強国を基本的に完成させる」とされており、中国の知的財産権強国の建設加速への方針が示されている。

◆ 「レグザ」部品が特許権侵害で1億3200万円の損害賠償

液晶テレビ「レグザ」の部品が発光ダイオード（LED）の特許権を侵害するものであるとして、日亜化学工業がTVS REGZA（旧東芝映像ソリューション）に対し損害賠償を求めた訴訟で、最高裁第3小法廷はTVS REGZAの上告を受理しない決定をしたため、1億3200万円の支払いを命じた二審知財高裁判決が確定した。

判決によると、今回の対象になったのは32型の2製品で、総販売数は計約73万台、売上高は計約249億円だったという。

東京地裁は、1台当たり20～30円の支払いが相当だとして約1795万円の支払いを命じたが、知財高裁は、売上高の0・5%を賠償額とし、大幅に上積みした。

◆ ブルガリの偽物販売 売上は2億円近くか

インターネット上で宝飾ブランド「ブルガリ」のネックレスの偽物を販売したとして、大阪府警は中国籍の会社役員ら男女計8人を商標法違反の疑いで逮捕した。このグループは少なくとも約1億9000万円を売り上げていたとみられ、府警は仕入れ先などを調べている。

インターネットサイト上では、約37万円の定価のネックレスを、約97%引きの1万1850円として販売していたという。

株式会社ノスクマード[®]インスティテュート[®]

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1-15-1 ノスクマードビル

TEL (06)6394-3073 FAX (06)6394-3066 URL <http://www.yanagino.com>

ノスクマード[®]知財ニュース

10

2021

◆ 日本製鉄がトヨタ自動車と中国鉄鋼企業の特許権侵害で提訴

日本製鉄は、トヨタ自動車と中国鉄鋼大手の宝山鋼鉄の特許権侵害で東京地裁に提訴したことを発表した。宝山鋼鉄については無方向性電磁鋼板の特許権侵害を理由とし、トヨタ自動車については無方向性電磁鋼板を使用した電動車が特許権を侵害していると判断。両社にそれぞれ約200億円の損害賠償を求めている。

また、トヨタ自動車に対しては、同製品を使用した電動車の製造販売の差し止め仮処分も申し立てているという。

◆ 「ライトニングケーブル」の偽物を販売目的所持で逮捕

北海道警は、米アップル社の偽の商標が表示されたケーブルを販売目的で所持していたとして、苫小牧市の斉藤笑生容疑者と夫の遼平容疑者を商標法違反の疑いで逮捕した。

2人は共謀して今年3月、iPhoneの充電などに使うライトニングケーブルの模倣品約1万1800本を販売目的で自宅に保管し、商標権を侵害したとみられる。

◆ 偽ブランド品を質屋に 弁護士が関与か

偽の高級ブランド品を質店に持ち込んだグループが、商標法違反などの疑いで逮捕された。逮捕されたのは、愛知県の弁護士、矢田政弘容疑者を含む男4人。矢田容疑者らは今年4月中国から輸入したルイ・ヴィトンの偽物のバッグ4個を、代金後払いで質入れした疑いがもたれている。また、グループのメンバーが質店とトラブルになった際には、矢田容疑者が弁護士として、質店と示談を成立させていたという。一連の被害総額は、4200万円にも上るとみられている。

株式会社ノスクマード[®]インスティテュート[®]

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1-15-1 ノスクマードビル

TEL (06)6394-3073 FAX (06)6394-3066 URL <http://www.yanagino.com>

ノスクマード[®]知財ニュース

11

2021

◆ ファイザー社が新型コロナ治療薬を低・中所得国でライセンス料不要に

ファイザー社は、新型コロナ治療薬の飲み薬「パクスロビド」について、「重症化を防ぐ可能性がある」として、FDA（食品医薬品局）に緊急使用の許可を申請したことを発表した。

また、同時に、低・中所得国への供与を目的に国連が支援する非営利団体とライセンス契約を結び、これらの国の医薬品メーカーは、特許料の支払いなしで「パクスロビド」の製造が可能となることを明らかにした。この対応で、世界95カ国、全人口の53%が低価格でこの薬を購入できるようになるという。

◆ メジャーリーグの「インディアンズ」が「ガーディアンズ」と和解し「ガーディアンズ」に

米国メジャーリーグのインディアンズは、球団の新名称を巡る訴訟で和解に達し、正式に「ガーディアンズ」となることを発表した。

これまで使われてきた「インディアンズ」については、その名称が人種差別的として、先住民族グループや人権活動家などから長年にわたって批判されてきたことを受け、今季終了後に名称を「ガーディアンズ」に変更することが発表されていた。

ところが、クリーブランドを本拠地とする、ローラーダービーというスポーツのチーム「ガーディアンズ」が存在し、インディアンズの新名称が、このガーディアンズが所有する商標権を侵害するとして、提訴されていた。

◆ 「天の橋立」が中国で商標登録

日本三景の「天橋立」（京都府）に関係する名称と考えられる「天の橋立」について、広東省の会社「深圳市恒天成貿易有限公司」がカフェや日本食レストラン等の分類で商標登録していることが明らかとなった。これにより、中国で日本企業等が指定商品・役務において、この商標を使用すると原則として商標権侵害となる。

近年、中国で「京都宇治」「小豆島」など、日本の地名や地域ブランド名が無関係の第三者により申請される例が相次いでいる。

株式会社ノスクマード[®]インスティテュート[®]

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1-15-1 ノスクマードビル

TEL (06)6394-3073 FAX (06)6394-3066 URL <http://www.yanagino.com>

ノスクマード[®]知財ニュース

12

2021

◆ ファーストリテイリングのセルフレジ訴訟が和解

ファーストリテイリングは、アスタリスク・NIPとの間で係争していたセルフレジの特許を巡る訴訟について、全面的に和解が成立したことを発表した。

対象のセルフレジは、凹みに商品を入れた買い物かごを置くだけで、商品に付いた電子タグを読み取る機能を備えるもので、アスタリスクはこの技術について2019年1月に特許権を取得し、関連技術についても分割することで複数の特許権を取得していた。

和解内容は明らかにはされていないが、今後はそれぞれの権利や事業を尊重し、互いに良好な関係を築くとしている。

◆ 日本製鉄が三井物産の特許権侵害で提訴

日本製鉄は、主に電気自動車やハイブリッド車などのモーターに使われる電磁鋼板に関する自社の特許権が侵害されたとして、三井物産に対し損害賠償等を求める訴えを東京地方裁判所に起こした。

日本製鉄は、既に中国の宝山鋼鉄とトヨタ自動車に対しても同じ特許権の侵害を理由に、損害賠償等を求める訴えを起こしていたが、その後、この宝山鋼鉄とトヨタの間の取引に、三井物産が関わっていると日本製鉄が判断したことで、今回の提訴に踏み切ったとみられている。

◆ 「うどんタクシー」訴訟が和解

香川県の讃岐うどん店巡りのサービスで、「うどんタクシー」の名称を使われ商標権を侵害されたとして、琴平バス（琴平町）が、空港タクシー（高松市）に名称の使用禁止などを求めている訴訟で、空港タクシーが、今後ホームページやパンフレットに「うどんタクシー」の名称を使用しないこと等を認め、和解が成立した。

琴平バスの社長は、「観光客に楽しんでもらうサービスなので、もめている状況はイメージがよくないと思っていた。解決してよかった」と話している。

株式会社 **ノスクマード[®] インスティテュート[®]**

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1-15-1 ノスクマードビル

TEL (06)6394-3073 FAX (06)6394-3066 URL <http://www.yanagino.com>